

平成30年度 西新井小学校 校内研究計画

1 平成30年度研究主題

主体的・対話的で深い学びを実現させるための授業づくり ～ICT機器の効果的な活用とプログラミング思考を生かした題材を通して～

本校では平成24年度から、ICT機器を活用した効果的、効率的な学習指導の方法について、研究と実践を重ねてきた。当初は、児童が学習する内容をより理解できるようにするために、視聴覚機器としての活用が主であったが、平成28・29年度に本校が東京都ICT教育環境整備支援事業に指定されたことを契機に、児童がICT機器を活用しながら学習をする形態の授業研究も進めることとなった。昨年度までの研究により、ICT機器の活用が児童の学習意欲や主体性の向上に役立つことや、対話的な学習を支えるツールとなることが検証されてきた。

今年度は、これまでの本校の研究と実践の蓄積をもう一度見直し、ICT機器の活用が児童の学びや教師の指導にとって有効であることを確認していくとともに、機器の効率的で効果的な活用方法についてまとめ、区内各校へ普及を促していく役割を担うことになる。それにあたっては、今年度から移行期を迎えた、新学習指導要領を踏まえ、児童の「主体的・対話的で深い学び」を実現させるために、ICT機器が有効なツールであることを実証していく必要もある。また、本校は平成30・31年度東京都プログラミング教育推進校の指定を受け、今年度からプログラミング思考を活用した授業づくりについても研究と実践を重ねていく。

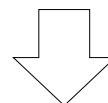
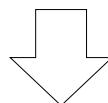
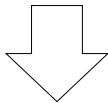
上記の本校のこれまでの歩み、そして求められている役割を踏まえ、本校の児童が自らの考えをもち、相互の対話を通して生き生きと学びながら概念や知識を獲得し、生涯にわたって新たな価値を創造して社会で活躍できる人として育つよう、本校の研究とそのフィードバックを進めていきたい。

2 平成30年度研究仮説

教師によるICT機器の
効率的・効果的な活用

児童によるICT機器の
活用場面を適切に設定

プログラミング思考を
活用した適切な題材の設定



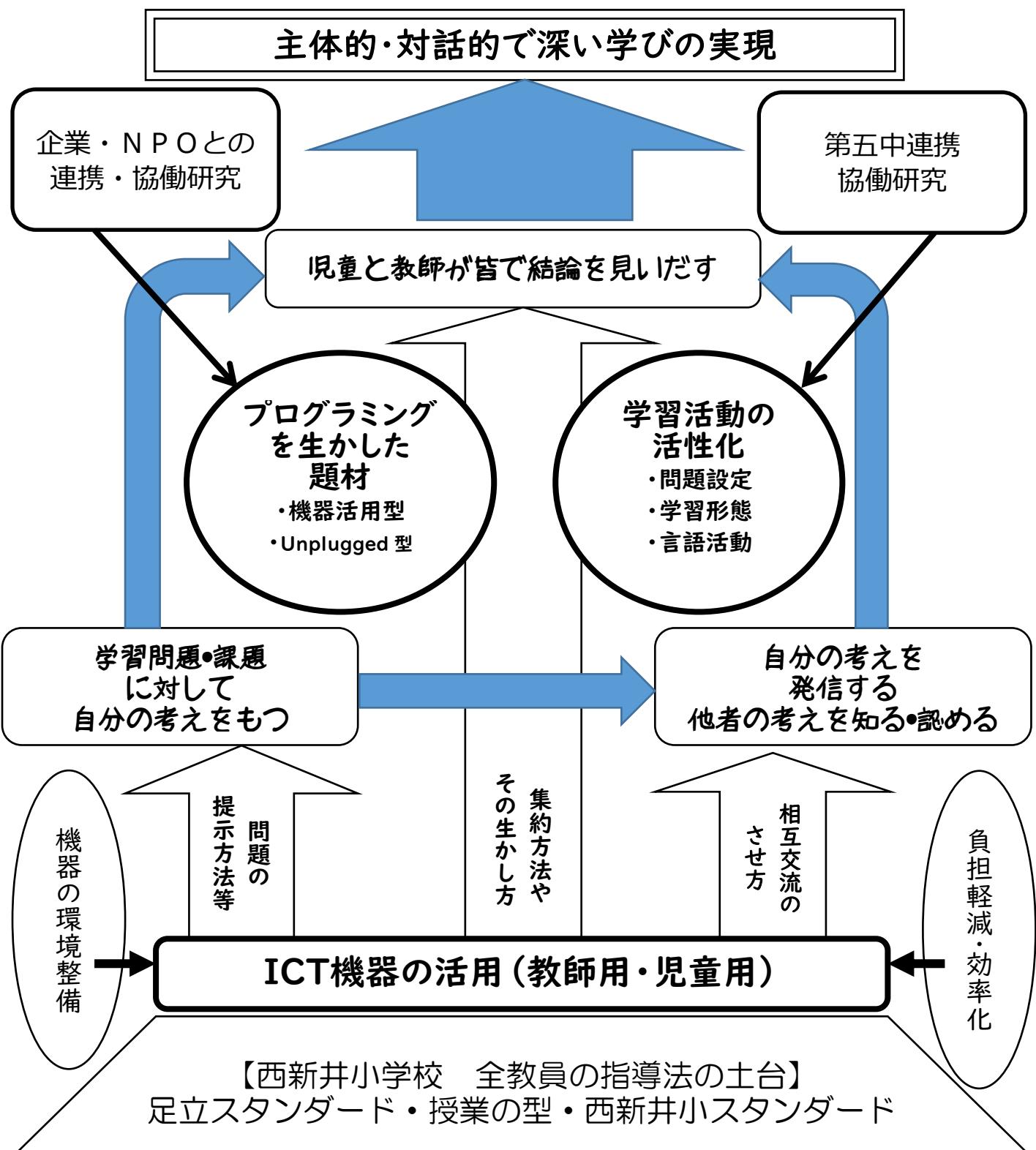
- ・授業準備負担の軽減と効率化
- ・児童の知識や概念の理解促進
- ・児童の多様な考え方の集約や分類が容易に

- ・学習意欲の向上（検証済）
- ・思考、表現ツールの広がり
→より多くの児童が問題の自力解決が可能に
- ・自らの考え方を多様に表現可能
- ・意見交流の活性化
- ・機器を活用した意見交流により、自らの考えが深まる。

- ・論理的思考力の育成
→各教科の学習に生きる力
- ・学習意欲や主体性の向上
- ・試行と検証の繰り返し
→深い学びの実現

主体的・対話的で深い学びの実現

平成30年度校内研究(教育ICT・プログラミング教育研究)構想図



西新井小の特色ある教育活動3本柱

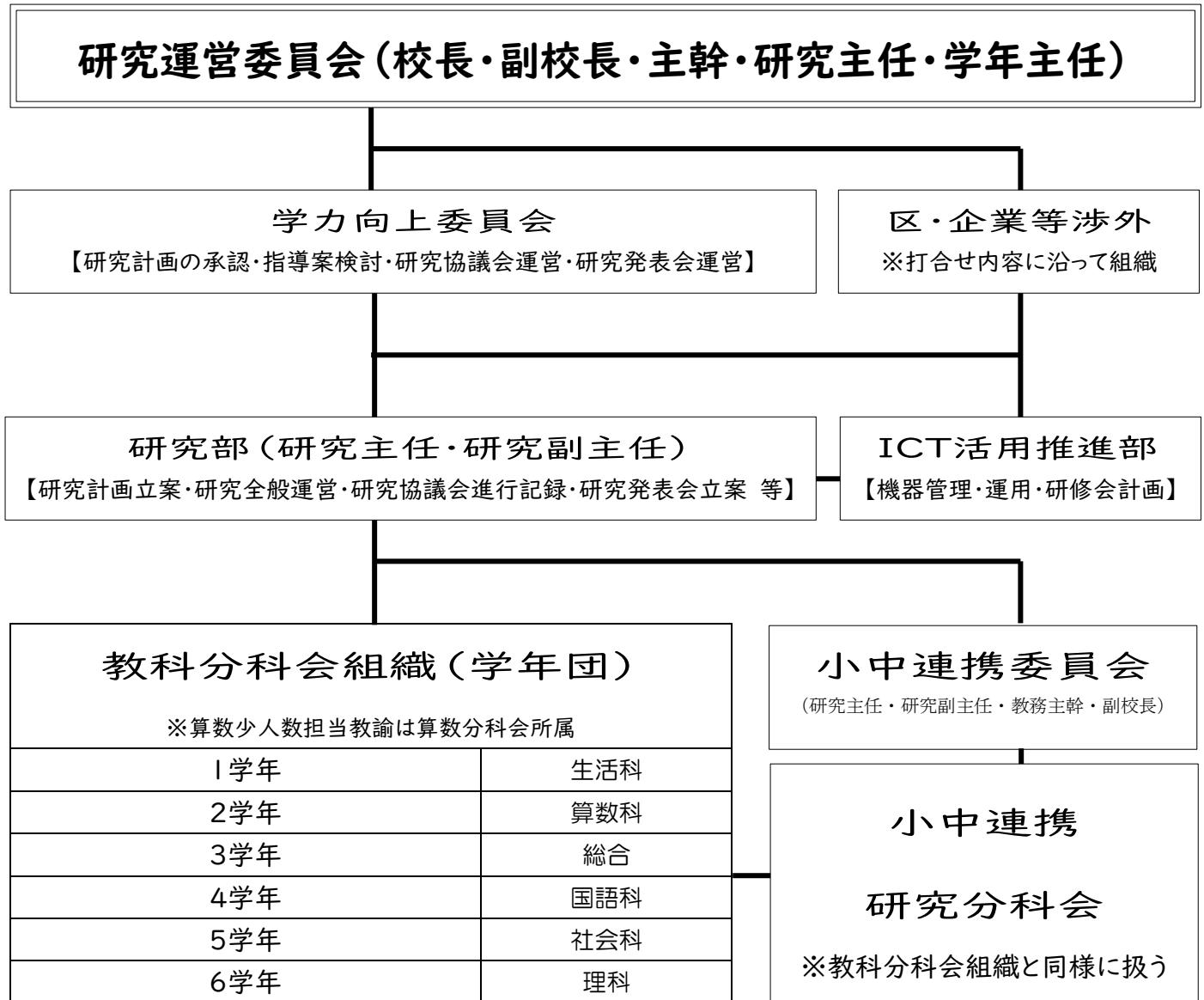
教育ICT
プログラミング

外国語活動

「防災巻」活用
防災教育

3 研究の進め方

(1) 研究組織



(2) 校内研究日 ※各学年1本ずつ年間6本 2本は小中連携兼ねる 3本はプログラミング教育を意識

4月26日(木)	小中連携研究全体会(14:15~) 第五中学校	
5月 8日(火)	研究全体会 講話:北澤 武 先生 ワークショップ	
6月20日(水)	第1回研究授業 4年生国語科分科会提案	小中連携日
9月12日(水)	第2回研究授業 3年生総合分科会提案	企業連携による授業を予定
9月26日(水)	小中連携研究全体会(14:00~) 第五中学校	
10月31日(水)	第3回研究授業 1年生生活科分科会提案	
11月21日(水)	第4回研究授業 6年生理科分科会提案	小中連携日
12月12日(水)	第5回研究授業 2年生算数科分科会提案	
12月19日(水)	小中連携研究全体会(14:00~) 第五中学校	
区内教育ICT研究発表会は12月中を目途に開催予定		
1月23日(水)	小中連携研究全体会(14:15~) 西新井小学校	
2月27日(水)	第4回研究授業 5年生社会科分科会提案	校内研究全体会兼ねる